

1 秋の交通安全県民運動 シャレをきかせて交通安全運動実施

9月21日に金田ふれあい朝市前広場で、交通事故「ナシ」と願いを込めて、地元特産品の「赤池梨」を配り、交通安全を呼びかけました。この運動は秋の交通安全県民運動の一環で、交通安全推進協議会と田川警察署が200個の梨を配布。「赤池梨で事故ナシをよろしく願います」と手渡されたドライバーは、シャレがきいたこの運動に、笑顔で賛同していました。



↑ 田川警察署のマスコット「たかちゃん」も参加して、赤池梨の新種「秋月」を配布。

↓ 午前と午後で2回行われたトークショーでは、通行規制が敷かれるほどの大盛況。



1 IKKOさんのプロデュースショップがオープン IKKOさんが望郷の地でさらに活躍

昨年11月に福智町観光大使に就任し、今月で2年目を迎えた美容家・IKKOさんが、郷土福岡でさらに活躍の幅を広げています。9月23日に世界中から取り寄せたコスメや雑貨などをそろえたプロデュースショップ「PEACH DOLL」がキャナルシティにオープン。その開店記念のトークショーでは、詰めかけた大勢のファンの前で望郷の気持ちを伝えていました。

↓ 今回が初登場の「ミニちくまる号」に乗車して、全長約70mのコースを満喫。



1 へいちくフェスタ2012 地域が鉄道の魅了に親しんだ1日

平成筑豊鉄道の開業日(10月1日)に合わせて、平成15年から毎年行われている「へいちくフェスタ」が、今年も10月6日に金田駅で行われました。今回は九州北部豪雨被災の「復旧御礼」として、旅行券などが当たる「大抽選会」や1回100円でどこまでも乗車できる「100円列車」の運行などを実施。多くの鉄道ファンや家族連れが「地域の足」に親しんでいました。

2 赤池山笠会 年ぶりに赤池山笠会が地域を運行

待ちわびて迎えた秋は、かき手たちの身も心も熱くする。10月20日・21日の2日間、赤池山笠会の有志が2年ぶりに山笠を運行し、祭りを謳歌しました。例年であれば各地区から山笠が参加し、赤池地区が祭り一色に染まる年ですが、今年は残念ながら1基のみで運行。それでも、寂しさを吹き飛ばす、威勢のいい掛け声が赤池地区にこだまし、観衆を魅了しました。



↑ 高さ7mを超える華麗な山笠。そろいの法被に身を包んで、勇壮に町を練りました。

↓ 終演は息の合ったデュエットを披露。黄色い声援が飛び交い、この日1番の盛り上がりを見せました。



1 千昌夫・新沼謙治チャリティー公演 故郷の復興を願って熱唱

東日本大震災の復興を支援する東北出身の千昌夫さんと新沼謙治さんのチャリティー公演「絆」が、9月20日に地域交流センターで行われました。「千さんは岩手県陸前高田市出身で、新沼さんは同大船渡市出身。共に出身地が甚大な被害を受け、2人の実家も被災しています」。そんな2人が故郷の復興を願って、コブシに思いを込めて熱唱する姿は、約350人の観客を魅了。アンコールを含めた23曲と軽妙なトークで終演まで何度も会場を沸かせていました。なお、今回の収益金の一部は復興支援として寄付されます。

1 平成24年度福智町認知症講演会 認知症介護の日々を赤裸々に語る

40代で若年性認知症を発症した夫を16年間支えた越智須美子さんを講師に招いた「認知症予防講演会」が、9月29日に地域交流センターで開催されました。越智さんは講演会の中で、夫の薄らぐ記憶と闘う日々を赤裸々に告白。「認知症は地域を上げたサポート体制づくりが必要。偏見をなくして病気を正しく理解してほしい」と、涙ながらに訴えていました。



↑ 渡辺謙主演映画「明日の記憶」は、越智さんの生活を参考にして製作されました。

↓ 13歳先の的に狙いをすまし、ジェットローラーと呼ばれる円盤を投じる参加者。



1 平成24年度下田川子ども会親善スポーツ大会 下田川の子もたちが町を越えて交流

下田川ライオンズクラブの後援で、「下田川親善スポーツ大会」が9月23日に糸田町で開催されました。この大会は、福智町と糸田町の子ども会の融和と親睦を図ることを目的に、毎年開催される恒例行事で、今回は両町合わせて16チーム55人が参加。ニュースポーツの屋内競技「カローリング」で対決し、各地域の声援を受けながら、町を越えて親睦を深めていました。